

平成23年2月19日に開催された大町市を愛する女性の会の皆様との意見交換会の中でお寄せいただいたご意見、ご提言については、大町市議会社会厚生委員会において、下記のとおり検討しました。

1 議会へ寄せられたご意見等、ご提言について

- (1) 介護や療養の必要な高齢者にとって要望の高い中間施設の充実を考えてほしい。(介護は誰でも通る道であるが、介護者の苦労は計り知れない。病院等から退院後、自宅での介護も現実的には困難な場合が多い。北アルプス広域連合の老健施設である虹の家の施設規模、ベッド数も少ない状況であり、介護や療養の必要な高齢者にとって要望の高い中間施設の充実を是非考えてほしい。介護への理解を深めるだけでなく、議員自身が市民に対しても理解を深めてもらうための見える行動をとってほしい。)

【検討結果】

介護や療養の必要な高齢者にとって要望の高い中間施設等の整備充実、機能強化については今後も必要不可欠であり、行政側も様々な施策を講じているところである。

しかし、財源や人材の確保の問題、関係する多様な制度等により市だけでは解決できない問題が多々あるのが現状である。市議会としても、中間施設等の充実に向け、国等への意見書提出など、引き続き関係機関へ粘り強く働きかけを行っていくことが必要である。

更に、日々変化している高齢者福祉の現状と課題を正確に市民へ伝え、要望等に的確に答えることができるよう、議員研修等を通じて認識を深めていく必要がある。

また、介護を必要としない元気な高齢者を目指した、介護予防施策の更なる推進や、市民が地域で安心して暮らせるため、各関係機関が一体となった施策の取り組みについて委員会審査等を通じて行政へ要望していくこととしたい。